

北海道価値創造パートナーシップ会議 in 網走

# 「地方創生と地域の連携 ～榎本武揚に学ぶ人材育成～」

黒瀧秀久  
(東京農業大学 生物産業学部長)

## 1. 東京農業大学の創設者・榎本武揚から現代に学ぶべき視点

(1) 本学の創設者・榎本武揚から現代に学ぶべき視点 (実学創造の原点)



食料、環境、健康、バイオマスエネルギー  
に挑む大学です。

**建学の精神**  
「人物を畑に還す」

**教育理念**  
「実学主義」

**実学教育に関する格言**  
「稲のことは稲に聞け」  
「冒険は最良の師である」  
「学びて後、足らざるを知る」

**3キャンパス6学部**

- **世田谷キャンパス**  
応用生物科学部 / 地域環境科学部  
国際食料情報学部 / 短期大学部
- **厚木キャンパス**  
農学部
- **オホーツクキャンパス**  
生物産業学部 (1989年開設)

### ●創設者・榎本武揚の人物像・・・文理融合的な“万能人”

「近代日本の万能人」・・・優れた科学技術の知識と才能を持ち、日本の近代化に貢献

- ・語学力に優れている (英語、フランス語、ドイツ語、オランダ語、ロシア語など)
- ・長崎海軍伝習所 (航法、砲術、造船、測量術、算術)
- ・オランダ留学 (造船学、蒸気機関学、物理学、科学、鉱物学、地質学、電子通信)
- ・「万国海律全書 (海の国際法規と外交)」、世界最新鋭の軍艦「開陽丸」
- ・戊辰戦争・・・「蝦夷共和国」総裁となるものの、箱館戦争で敗戦
- ・獄中でも尽きぬ“ものづくり”への執着 (石けん、焼酎、人工孵卵器、電信機等)
- ・明治政府に旧幕臣で唯一登用される

北海道開拓 (鉱物資源調査、炭鉱調査、農業、漁業、牧畜の調査)  
→小樽のまちづくり、対雁の農地開発

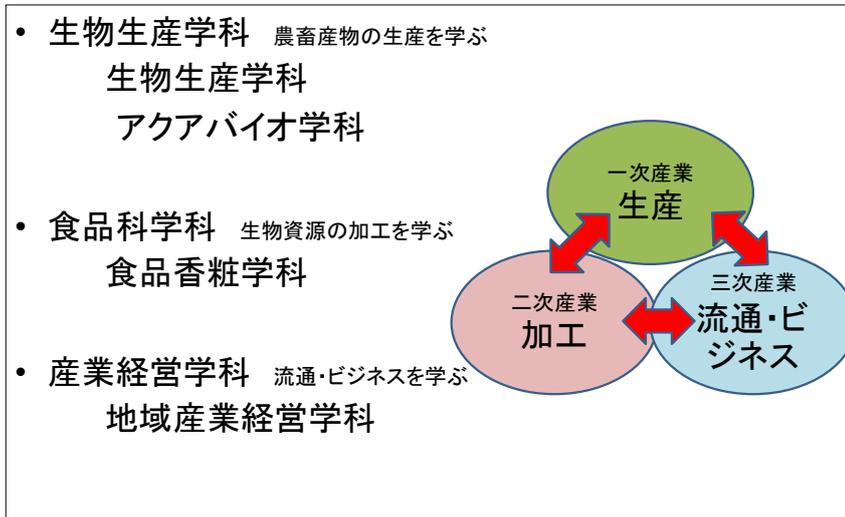
樺太・千島交換条約の締結 (1875年)・・・巧みな外交能力  
農商務大臣としての産業振興・・・官営八幡製鉄所の設立  
文部大臣としてのメッセージ

「セオリー (理論) とプラクチス (実践) の二者が車の両輪となってはじめて  
完全の教育となる」・・・《実学創造の原点》

- ①国際交流、②持続的な社会発展、③地域資源とものづくり、④教育者の視点
- ⑤文理融合的な“万能人”

(2) オホーツクキャンパスの開設と地域の生物産業に密着した教育・研究

## 六次産業化による地域創成と人材育成



### 2. 東京農業大学オホーツクキャンパスにおける産学官連携の取り組み

- (1) 地域資源を活用した産学連携型の取り組み（網走ビール等）
- (2) 新たな地域資源・エミューを活用した産学官連携の取り組み成果
- (3) オホーツク実学センターによる実学教育プログラムの展開

## 学部付属組織による地域創成

- **網走寒冷地農場**  
農業生産における課題を地域の農家と共に研究
- **オホーツク臨海研究センター**  
水産業における課題を地域と共に研究
- **食品加工技術センター**  
地域の産物を利用した加工品の開発支援
- **生物資源開発研究所**  
企業・地域との研究の連携を総括
- **オホーツク実学センター**  
生物資源の6次産業化を支援
- **食香粧研究会**  
大学と企業の研究連携



### 3. 大学と地域の相互作用による「共創・共育・共感」システムの構築に向けて ～東京農業大学とオホーツク地域でつくる教育イノベーション～

#### (1) 地域の6次産業化エキスパートの育成

## 地域の6次産業化エキスパートの育成

### (1) 学科連携による6次産業化エキスパートの育成

- ・生物産業学概論 ←生物産業学を体系化
- ・北海道学・オホーツク学 ←生物産業学の各論
- ・フードマイスター育成 ←6次産業化の実習プログラム
- ・食の六次産業化プロデューサー ←国家認定制度の取得

### (2) 地域連携による教育システム

- ・農作業・漁業作業の単位化 ←農畜水産業の実践
- ・地域イベント参加の単位化 ←イベント運営の実践
- ・自然環境から学ぶ  
知床世界自然遺産、ラムサール条約指定(濤沸湖)、網走国定公園、  
知床国立公園、阿寒国立公園

#### (2) 実学教育と「学び合い・教え合い制度」

## 実学教育と「学び合い・教え合い制度」

### ★実学教育プログラムの5つの理念

- ①“地域が学校である”
- ②“現実の実学研究テーマの宝庫である”
- ③“実学とアカデミズムの融合は新たな研究者の評価を生み出す”
- ④“現場体験の積み重ねが、学力と人間力を高める”
- ⑤“文理融合的研究教育が社会的ニーズとシーズを生み出す”

- 企業人、地域住民、卒業生からの学び  
(実学教授)
- 後輩が先輩から学ぶ  
「学び合い・教え合い制度」

(3) 社会人講座と大学発ベンチャー

## 社会人講座と大学発ベンチャー

### ○オホーツクものづくり・ビジネス地域創成塾

### ○NPO法人創成塾

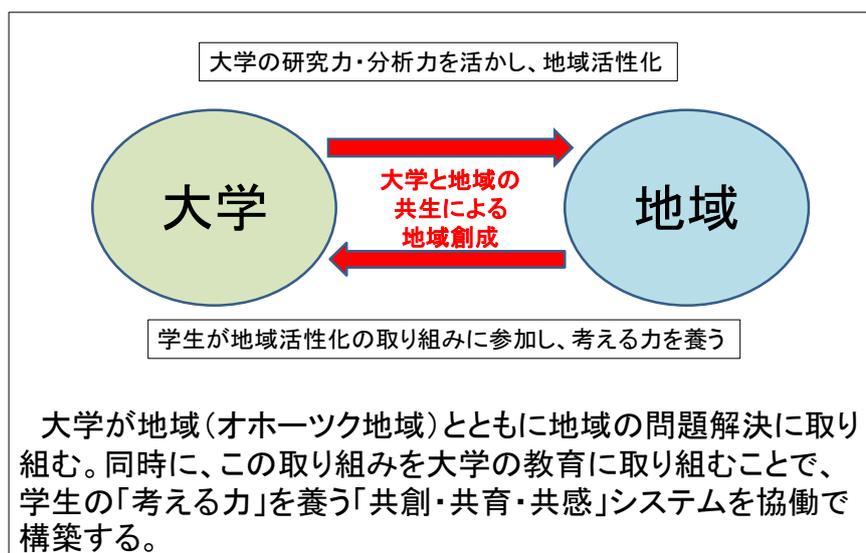
- ・フードマイスター育成プログラムを発展させた社会人向け講座
- ・ビジネス・マーケティングと加工技術を学んだ「オホーツクものづくりマイスター」修了生は延べ101名(第1期～第5期生)
- ・地域資源を活用した新商品開発と雇用創出

### ○株式会社 東京農大バイオインダストリー

- ・六次産業化を実践する企業
- ・エミュービジネス(どら焼き、エミューオイルを使った石けん等)

(4) 大学と地域の相互作用による「共創・共育・共感」システム構築

## 大学と地域の相互作用による「共創・共育・共感」システム構築



(5) オホーツクから全国へ、世界へ「共創・共育・共感」システムの展望

## オホーツクから全国へ、世界へ 「共創・共育・共感」システムの展望

### ○榎本武揚フロンティア入試

日本全国から国際的活躍と地域活性化を同時にめざす学生を募集し、ローカルとグローバルの両方の視点をもつ学生を育成する。

### ○人物を畑に還す

地方創生リーダーを育成し、卒業後、それぞれの地域に還す。

### ○実学フィールド研究の世界的拠点として

「共創・共育・共感」システムと東京農大国際センターの協力により、留学生の受け入れ、地方創生リーダーの海外派遣を推進する。

#### 4. おわりに ーさらなる地域連携と地域貢献をめざしてー

- ・地域資源と人材を活かす内発的発展の考えで“真の地方創生モデル”へ
- ・大学と自治体、企業体等との地域連携“北海道・オホーツクモデル”の提案